

区名	東成区
学校名	大成小学校
学校長名	中井 正夫

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大成小学校では、第6学年 37名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本年度の全国学力・学習状況調査において、本校の国語科・算数科・理科のすべての教科で、平均正答率が全国および大阪市の平均を上回る結果となった。国語科：全国比+2.1ポイント、市比+4.0ポイント、算数科：全国・市比ともに+11ポイント、理科：全国比+9.9ポイント、市比+12ポイントであった。また、平均無解答率（白紙回答率）についても、すべての教科で全国および大阪府の平均より低く、児童が積極的に問題に取り組んでいる様子がうかがえる。これらの成果は、これまで10年間にわたり国語科を研究教科として位置づけ、学習指導法の工夫・改善を重ねてきた取り組みの成果が、基礎的な学力の定着として表れてきているものと考える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】多くの領域で平均正答率が全国および大阪市の平均を上回る結果となった。これは、「音読」「視写」を行い、その後に内容を「構造化」して自分の考えをまとめ、互いに意見を交流するという授業形態を、学校全体で系統的に取り組んだ成果であると考えられる。また、前年度に重点的に取り組んだ「非連続テキスト」の読み取りについても成果が見られ、関連する問題の平均正答率は全国・大阪市の平均を上回った。

【算数】全ての領域で、全国および大阪市の平均を上回る結果となった。特に「数と計算」および「図形」の領域では、平均を10ポイント以上上回る顕著な成果が見られた。また、問題形式別では、「短答式」で14ポイント、「記述式」で11ポイント以上、全国および市の平均を上回る結果となった。国語科の研究と関連づけながら「書くこと」に重点を置き、教科横断的に取り組んできたことが、これらの成果につながったと考えられる。

【理科】4領域のうち「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域の3領域において、全国および大阪市の平均を10ポイント以上上回る結果となった。また、問題形式別では、「選択式」で12ポイント、「短答式」で6ポイント、「記述式」で0.5ポイント以上、全国および市の平均を上回る結果となった。算数科と同様に、国語科の研究や取り組みが、良い成果として表れていると考える。

今後も、学力向上支援チーム事業の活用による、教師の指導力向上に向けての取り組みや、校長経営戦略支援予算のブロック化予算の効果的な運用を図る。

質問調査より

「早寝・早起き・朝ごはん」に関する質問項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国・大阪市平均よりも高く、保護者の理解と協力のもと、各家庭で規則正しい生活が実践されていることがうかがえる。また、「先生は、良いところを認めてくれていると思うか」の項目では、肯定的回答が全児童100%であり、特に最も肯定的な回答を選んだ児童の割合は、全国・大阪市平均を22ポイント以上上回る結果となった。児童一人ひとりへの理解や支援、さらに保護者との連携の積み重ねが、教師と児童との信頼関係の構築につながっていると考える。「人が困っていると進んで助ける」「学校が楽しい」といった項目でも、良好な結果が得られている。

一方で、授業時間以外の「家庭学習の時間」や「ICT機器を活用した学習時間」の質問項目については、課題の感じられる結果であった。また、「読書は好き」とする児童は多いものの、読書時間は短い傾向が見られた。

今後の取組(アクションプラン)

今後も、家庭の協力を得ながら、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的生活習慣の確立を引き続き図るとともに、児童が安心して主体的に学ぶための基盤となる教師と児童との信頼関係を大切にしていく。また、「学力向上支援チーム事業」を活用し、校内研修の充実と教員の授業力の向上にも引き続き取り組む。校長経営戦略支援予算のブロック化予算で、自主学習ノートを活用して、児童が自学自習の習慣を確立できるように手立てを工夫し、校内全体で取り組んでいくようとする。学校図書館部を中心にして、今後も読書習慣の確立に向け、取り組みの深化を進めていく。ICT機器の活用について、校内研修を充実させ、児童の個別最適な学びにつなげられるように、指導や支援の進め方を追究する。

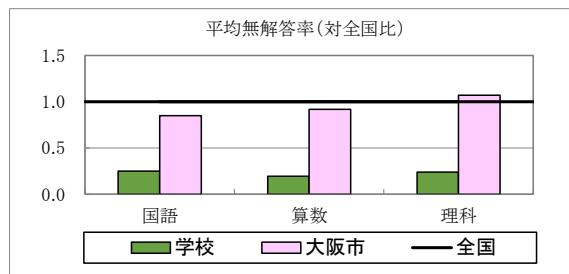
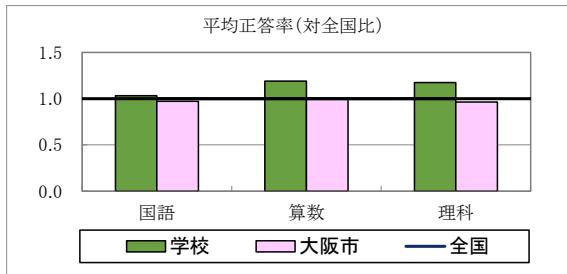
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	69	69	67
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	0.8	0.7	0.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

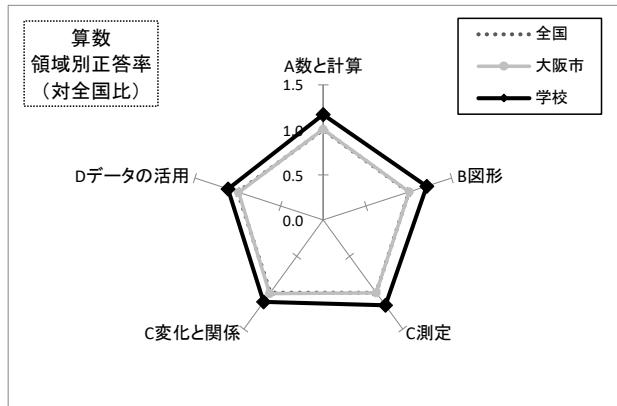
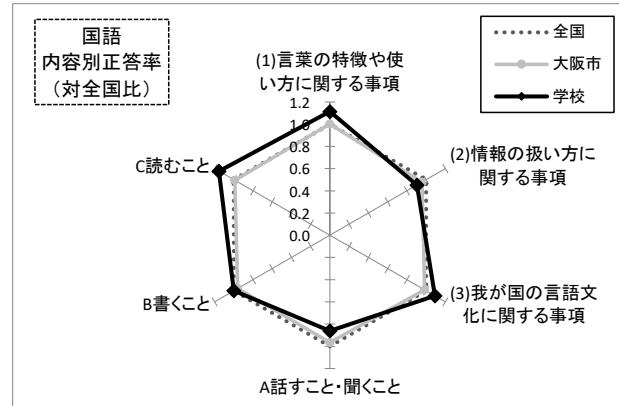
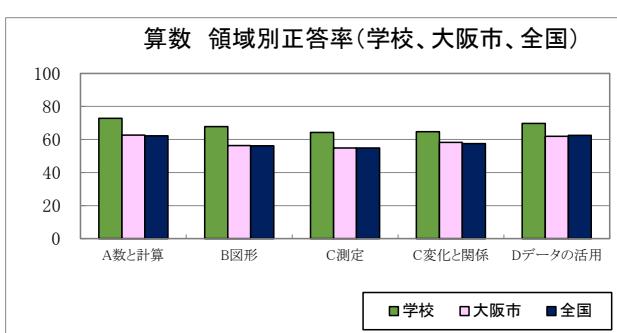
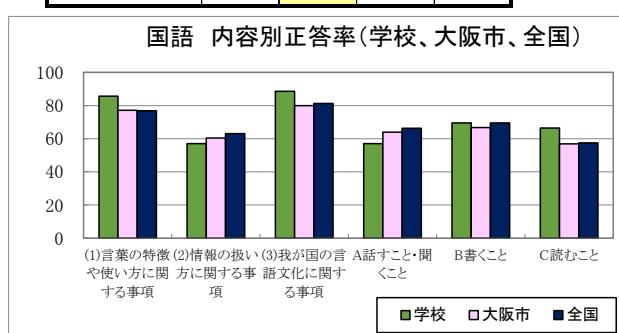


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	85.7	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	57.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	88.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	69.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	66.4	56.9	57.5

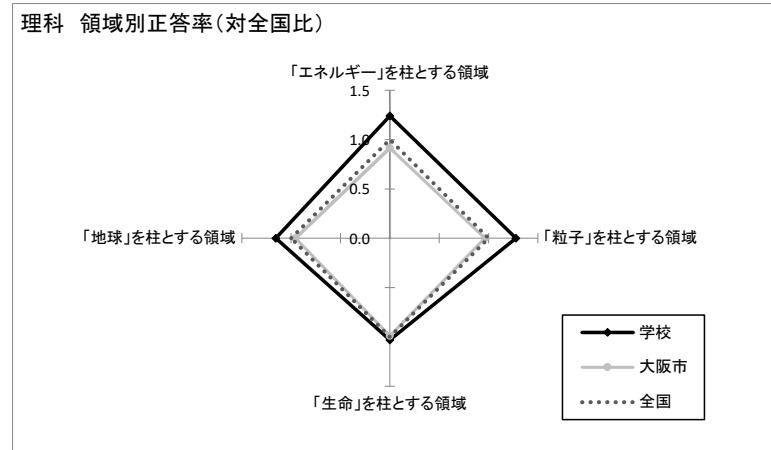
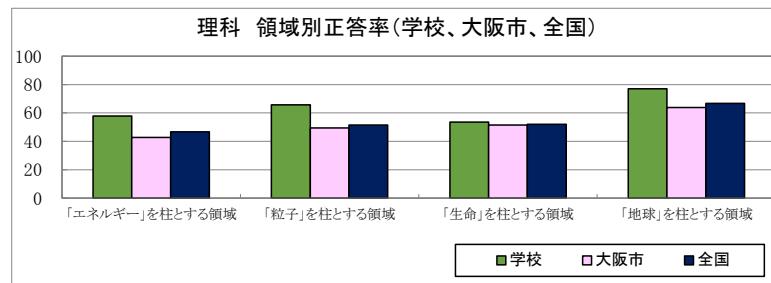
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	72.9	62.7	62.3
B 図形	4	67.9	56.4	56.2
C 測定	2	64.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	64.8	58.2	57.5
D データの活用	5	69.7	61.9	62.6



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	57.9	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	65.7	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	53.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	77.1	63.8	66.7



児童質問より

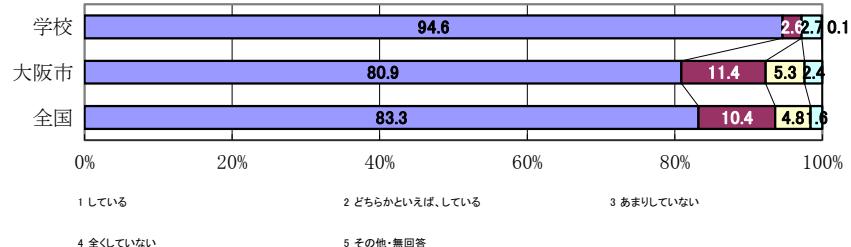
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

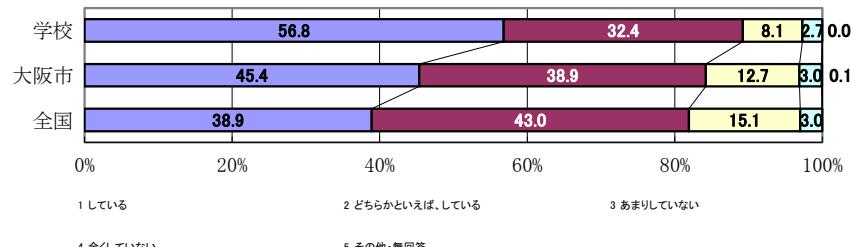
1

朝食を毎日食べていますか



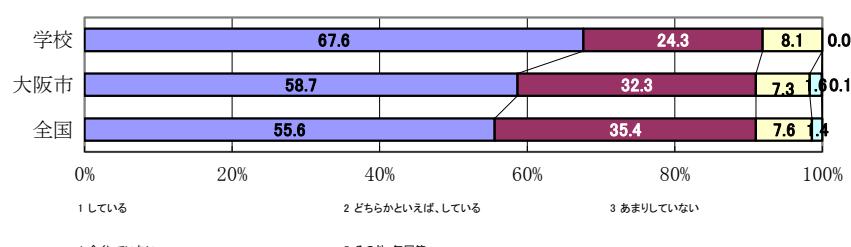
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



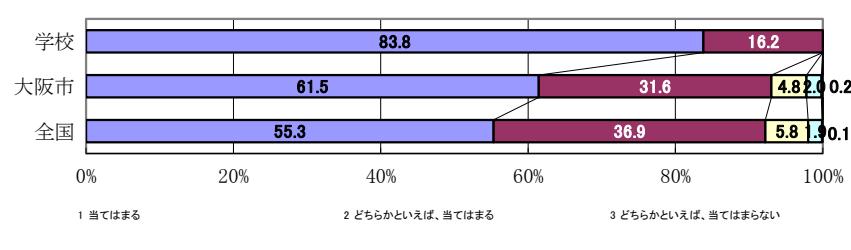
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



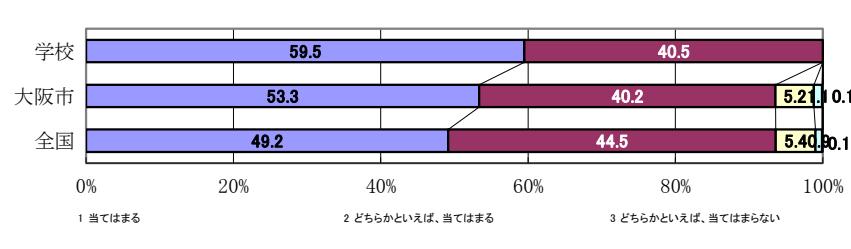
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



児童質問より

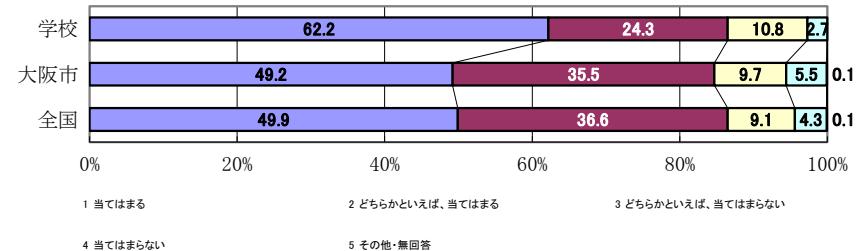
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

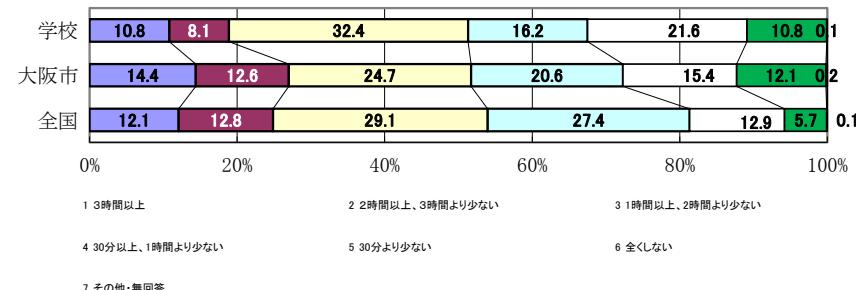
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



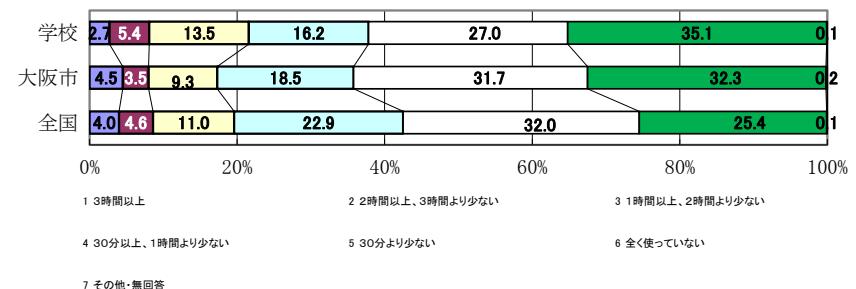
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



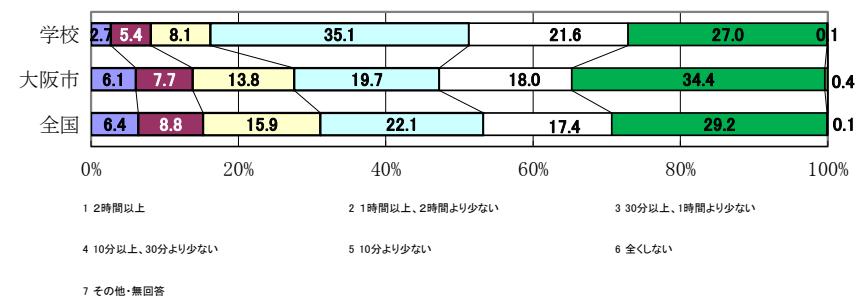
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか、(遊びなどの目的に使う時間は除く)



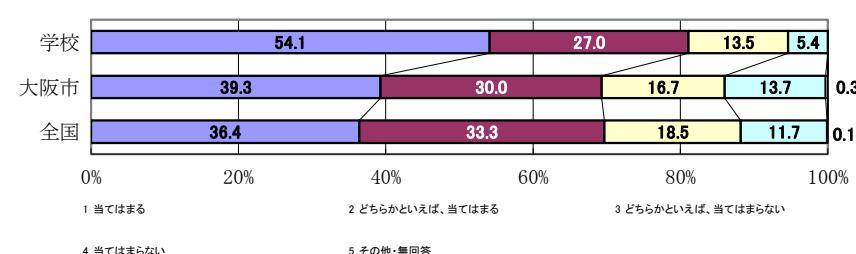
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



24

読書は好きですか



学校質問より

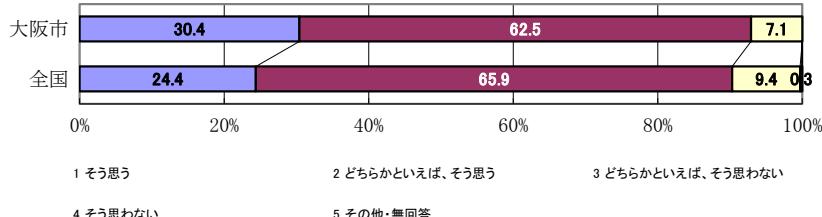
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

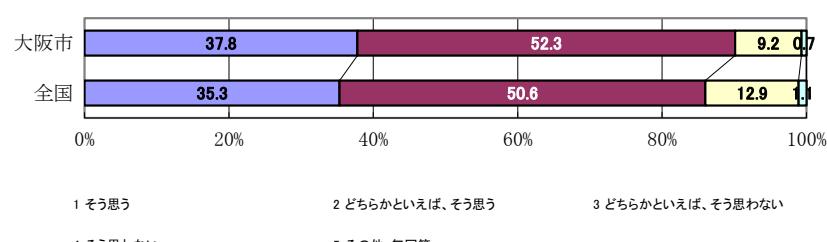
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

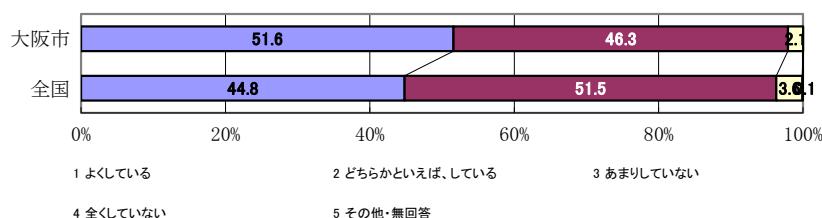
学校 「そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

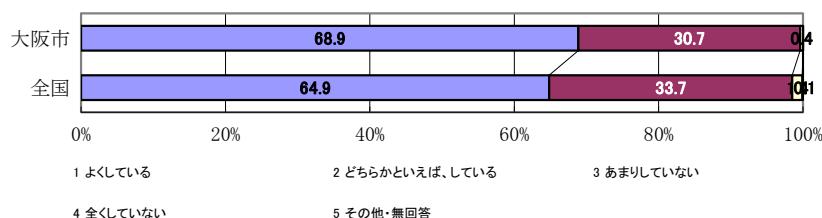
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

